

# でんでんくん



でんでんくん



きぬたくん



つちこちゃん



## 職員の研修に利用してみませんか？

聴覚支援学校では、センターの機能として職員研修の支援を行っています。今年度もたくさんの学校から依頼を受けて訪問させていただきました。1月、2月には来年度に向けて職員研修を行った学校もありました。ご希望があればご相談ください。

No.7 平成31年3月4日

発行：秋田県立聴覚支援学校  
(きこえとことば支援センター)

来年度、難聴児が入学するけど、どんな配慮が必要なんだろう・・・

「ロジャー」ってどう使うの・・・

全職員での研修は期日を設定するのが難しい・・・

〈内容〉 聴覚障害について、担当される児童生徒のきこえ、難聴学級教室環境、補聴器や人工内耳の仕組み、補聴援助システム（ロジャー）の活用、自立活動 など

〈時間〉 60分～90分（研修内容は希望される先生と相談して決めます。）

〈対象〉 難聴児が在籍している、または入学を予定している小学校、中学校、高校等  
※難聴児を担当されている方1名のみ、学年部や教科担当など関わりが多い職員5～10名、全校職員等、人数は問いません。

## ◎ 次年度への準備は進んでいますか。

今年度の支援内容について、本人や保護者、関係職員と振り返り、次年度に向けてスムーズなスタートがきれるようにしておきましょう！

### 【引き継ぎ資料】(例)

- 個別の支援計画
- 個別の指導計画
  - ・具体的な手立ての記入
- 最新のオーディオグラム  
(裸耳と補聴器等装用時の聴力測定結果)
- 各種検査資料
- 補聴器等のデータ
- 面談の記録
- 通院時の記録

### 〈関係学校職員〉 ⇄ 〈担任〉 ⇄ 〈本人〉 〈保護者〉

- 難聴学級、交流学級で学習する教科の選定
- 交流学級でのT1の配慮、T2の役割
- 自立活動の時間設定
- 補聴器等の自己管理（学校、家庭）
- 座席、席替え
- 交流学級でのきこえ（先生の話や友だちの発表）
- 校内放送やCDラジカセ、DVD教材使用時のきこえや理解
- 難聴理解学習の計画
- 補聴援助システム（ロジャー）の使用について
- 行事、集会、部活等でのやりとりの工夫

# 自立活動（言語指導）実践例

この時期に押さえない『進級』という語。ここでは、発達段階に応じた取り上げ方の例をご紹介します。担当のお子さんは、本当に意味をつかんでいますか。修了式と終業式を混同していませんか。自分の気持ちを言葉で表現できますか。年一回の機会を大切に、家庭と連携して、丁寧に確認していきましょう。

【対象学年】 小1・2	【指導時間】 3月中旬・5分間
【ねらい】 教師とのやりとりを通して、進級の概念を育てる。	
<b>【言葉、内容、発問等】</b> T「もうすぐお姉さんになりますね。どんな気持ちですか。」・心情と結び付ける。 T「(子どもの反応に合わせて) そうですね、嬉しいですね。いつから? 何月から? 等」 T「4月になったら何かわかりますか。」 T「学年が上がることを進級と言いますよ。」 T「進級って、何ですか。」	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年が一つ上がることを確認。</li> <li>・新出語として「進級」をおさえる。</li> <li>・説明させることで確認する。</li> </ul>	
【対象学年】 小3・4	【指導時間】 3月中旬・5分間
【ねらい】 関連する知識や言葉を増やし、気持ちの面にも触れる。	
<b>【言葉、内容、発問等】</b> 『 』: 押さえない語・表現 T (復習)「この前やった<平成31年度>の事を尋ねます。」 小学○年生になる    4月から3月まで    『来年度』 等 T 「『来年度』、あなたは何年生から何年生になりますか。」 ぼく: 小学△年生から小学○年生になります。    姉: 中学3年生から高校1年生になります。 T「(板書)《～なります》を漢字2字で何と言うでしょう。」 → 『進級』と言います。 / 『進学』 T「どんなことが(何が)変わるのでしょうか。」「だから、どんな気持ちになるのでしょうか。」	
【対象学年】 小学6年生	【指導時間】 4月上旬・5分間
【ねらい】 新たな気持ちで新学期を迎えるに当たり、最高学年としての意識を高める。	
<b>【言葉、内容、発問等】</b> T「進級おめでとうございます。○○さんは、6年生になりましたね。」 T「一番上の学年のことを、なんというか知っていますか。」 T「(子どもの実態・状況に合わせて)「(校長)先生のお話の中にも出ていた言葉ですよ。」 「(板書)○○学年といいます。一番という意味の言葉が入ります。」 T「最高学年といいます。(板書して)漢字の意味は、(説明する)」 T「最高学年になったので、どんなことを頑張りたいですか。」	

## おしらせ

### 緊急時の対応について

難聴の児童生徒は、校内放送など機器からの音が聞こえにくいとされています。そのため、緊急時や災害時にどうするべきかを事前に伝えておくことが大切です。また、周囲の人が(先生、友だち)どのように支援するかを確認する必要があります。

学校以外の場所や卒業後に災害等に見舞われ、周囲に支援を求めるときの方法についても確認しておきましょう。

★参考資料『聴覚障害者のための防災マニュアル』

秋田県聴覚障害者支援センターのHPからダウンロードできます。



**難聴に関すること、補聴器に関すること、毎日の授業についてお気軽にご相談ください。**

きこえとことば支援センター（秋田県立聴覚支援学校内）

〒010-1409 秋田市南ヶ丘一丁目1番1号

【直通携帯電話】090-8784-6302【携帯メールアドレス】chou-sien0291@docomo.ne.jp

【聴覚支援学校】TEL: 018-889-8572 FAX: 018-889-8575

E-mail: chokaku-s\_shien@akita-pref.ed.jp